

院生研究活動状況一覧

2023年1月1日から2023年12月31日までの間に発表されたもので、
本人より申告されたもののみを記載した。

《教育基礎学専攻》

江幡知佳（教育制度学）

〈論文〉

- ・江幡知佳「米国における国際バカロレア・ディプロマプログラムの普及に関する研究—早修／単位認定に着目して—」『日本教育制度学会創立30周年記念誌』（日本教育制度学会）特別号，2023年11月，332-348.

〈学会発表〉

- ・御手洗明佳，松本暢平，木村光宏，菅井篤，菊地かおり，江幡知佳，齊藤貴浩「国際バカロレア・ディプロマプログラム（IBDP）の履修を通じたコンピテンシーの伸長—「高校での学習・経験に関する実態調査」（2021・2022年度）の分析結果から—」日本国際バカロレア教育学会第8回大会，横浜市立大学（神奈川県横浜市），2023年9月18日.

小山田建太（教育社会学／共生教育学）

〈論文〉

- ・小山田建太「公的若者支援施策における支援の意義に関する考察—長期型プログラムにかかわるスタッフ・受講者に着目して」『社会政策』第14巻第3号，2023年3月，pp.120-131.
- ・小山田建太「今日の若者のキャリアを承認する「自立」観の検討—親子の認識に着目して」『筑波大学教育学系論集』第47巻第2号，2023年3月，pp.1-14.

〈学会発表〉

- ・小山田建太「公設フリースクールは公教育をいかに拡充可能か—事例報告と保護者ヒアリング調査の結果から」共生学会第1回大会，立正大学，2023年3月.

〈その他〉

- ・小山田建太「ニート再考—曖昧なイメージを超えて」Webマガジン Edit-us リレー連載『他人と生きるための社会学キーワード』，2023年1月.

《学校教育学専攻》

赤塚祐哉（教育方法学）

〈編著書〉

- ・御手洗明佳, 赤塚祐哉, 井上志音（共著）『国際バカロレア教育に学ぶ授業改善：資質・能力を育む学習指導案のつくり方』2023年, 初版, 北大路書房, 総ページ数177.
- ・赤塚祐哉『Integrated English for Critical Thinking』2023年, 初版, 松柏社, 総ページ数85.

〈学会発表〉

- ・Yuya, Akatsuka 「Acceptance of Concept-Based Learning Theory in International Baccalaureate's EFL Classes」 The 27th PAAL International Conference, 文教大学, 2023年8月17日.

〈海外発表〉

- ・Yasushi, Tsubota., Miwa, Morishita., Yuya, Akatsuka., Yasunari, Harada. (2023). A brief introduction of EMI in Japan. Organized joint presentation at the 197th Meeting of the Association for Next Generation Higher Education, National Kaohsiung University of Hospitality and Tourism, May 3, 2023.
- ・Yuya, Akatsuka. (2023). International Baccalaureate and EMI. Language Environment and Linguistics Landscape Supporting English Education, National Tsing Hua University, May 5, 2023.

大脇和志（社会科教育学）

〈論文〉

- ・久保園梓, 村松灯, 大脇和志 「「生徒の声」に基づく校則見直し活動の意義と課題—県立A高等学校の事例から—」『公民教育研究』第30号, 2023年3月, pp.17-32.

〈総説・科研報告書等〉

- ・大脇和志 「世論調査を読み解く情報リテラシーの育成をめざす政治学習」『18歳市民力を育成する社会科・公民科の系統的・総合的教育課程編成に関する研究 報告書』（日本公民教育学会令和2（2020）～令和4（2022）年度日本学術振興会・科学研究費補助金（基盤研究B）（課題番号：20H01670）, 2023年3月, 217p., pp.104-105.

〈学会発表〉

- ・大脇和志 「世論調査を読み解く情報リテラシーの育成をめざす政治学習の構想—中学校社会科単元「内閣支持率から世論とマスメディアを考える」の実践から—」日本公民教育学会 科研費研究プロジェクト 実践研究グループ別発表会, オンライン開催, 2023年1月9日.
- ・大脇和志, 唐木清志 「小・中・高生の「18歳市民力」の実態—科研プロジェクト質問紙調査の二次分析から—」日本公民教育学会第33回全国研究大会, 埼玉大学, 2023年6月11日.
- ・大脇和志 「特別活動と社会科の間—教科等横断的なシティズンシップ教育の研究に向けて—」日本特別活動学会 2023年度第3回特活カフェ, オンライン開催, 2023年7月23日.
- ・大脇和志 「教室をミニ・パブリックスにする—「熟議のためのナッジ」としての社会科授業の条件—」全国社会科教育学会第72回全国研究大会, 岡山大学津島キャンパス, 2023年11月19日.

《教育学学位プログラム後期課程》

相庭貴行（特別活動学）

〈編著書〉

- ・相庭貴行「今後求められる特別活動の研究と実践」日本特別活動学会監修，京免徹雄，川本和孝，長谷川祐介編著『特別活動がつくる学校の未来—開かれた研究と実践に向けて—』2023年2月，IPC出版センター，251p，p.241-246

〈学会発表〉

- ・相庭貴行「戦後初期文部省の生徒会論における「公民」観の特質—米国のE.K. フレツェルにおける生徒会論との対比から—」シティズンシップ教育フォーラム，オンライン，2023年10月1日

青木栄治（教育制度学）

〈学会発表〉

- ・青木栄治「イギリスにおける停・退学低減に向けた地方当局の施策の検討」日英教育学会，専修大学（ハイブリッド），2023年8月29日。

安達 心（教育方法学）

〈論文〉

- ・安達心「小中一貫教育による拡散的好奇心の継続的育成の可能性—つくば市「つくばスタイル科」の取組みを考察して—」『日本義務教育学会紀要』第6号，2023年4月，pp.5-14.

〈学会発表〉

- ・安達心「知的好奇心を育成する教材づくりの視点—報酬学習フレームワークとCiCフレームワークを用いた教材分析を通して—」日本教材学会，オンライン，2023年10月22日
- ・安達心「小中一貫教育による拡散的好奇心の育成—山形県南陽市の小・中学校「総合的な学習の時間」の考察を通して—」日本義務教育学会，曳舟文化センター，2023年11月11日

石鍋杏樹（教育哲学）

〈学会発表〉

- ・石鍋杏樹「デイヴィッド・アーチャードの私的領域をめぐる思想的展開—養育・教育における公私区分論の問い直しに向けて—」教育哲学会，九州大学，2023年10月8日。

石原雅子（人文学科教育学）

〈編著書〉

分担執筆

- ・石原雅子「体験に基づいて書く」他，石塚修他『文学国語 教師用指導書』，2023年4月，初版，大修館書店，総985頁，60-64，249-253（以上1巻），146-150，249-253（以上2巻），107-111，170-174（以上3巻），54-58（以上4巻）。

〈学会発表〉

- ・石原雅子「初読後の創作を起点とする「読むこと」の学習指導—アダプテーションの解釈形成過程への影響—」，第144回全国大学国語教育学会，島根大学，2023年5月28日。

- ・常深浩平, 福田由紀, 望月正哉, 井関龍太, 石原雅子, 長田友紀「物語多面的特性指標の信頼性の検討」, 日本心理学会第 87 回大会, 神戸国際展示場, 2023 年 9 月 16 日.

小野明日美 (学校経営学)

〈学会発表〉

- ・小野明日美「学区を基盤とする多様な公立学校の運営における分権型ガバナンスの可能性：1970 年代アメリカのサウスイースト・オルタナティブズを事例にして」日本教育経営学会第 63 回大会, 筑波大学, 2023 年 6 月 4 日.
- ・小野明日美「1970 年代アメリカにおける「フリースクール」の公立学校制度参入の是非をめぐる議論の展開：New Schools Exchange Newsletter の分析を中心に」日本教育制度学会第 30 回大会, 筑波大学, 2023 年 11 月 11 日.

〈その他 受賞など〉

- ・紀要論文奨励賞, 日本教育制度学会, 2023 年 11 月.

康 孝民 (数学教育)

〈学会発表〉

- ・日野圭子, 康孝民, 舟橋友香「若手数学教師の授業改善に関わるレキシコンの事例的検討」『日本数学教育学会第 11 回春期研究大会論文集』, 303-310, 宮城教育大学, 2023 年 6 月 4 日.
- ※ Kang, H. (2023). HOW DOES A FACILITATOR SUPPORT TASK DESIGN DURING SCHOOL-BASED LESSON STUDY?. In M. Ayalon., B. Koichu., R. Leikin., L. Rubel., & M. Tabach. (Eds.), *Proceedings of the 46th Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education (PME)*, 1, 266, University of Haifa, Israel, 19th July 2023.
- ・康孝民「算数科授業レキシコンの構成に関する一考察：校内授業研究の協議会に焦点を当てて」, 『日本科学教育学会第 47 回年会論文集』, 329-332, 愛媛大学, 2023 年 9 月 20 日.
- ・KANG, H. (2023). Teachers' Reflection in Mathematics Lesson through Lesson Study Cycle Focusing on Teachers' Discussions. *JSSE Research Report*, 38(1), 15-18. Online, 4th November 2023. https://doi.org/10.14935/jsse.38.1_15
- ・舟橋友香, 日野圭子, 康孝民「授業レキシコンの視点からみた若手数学教師の経験の過程 —インタビューにみる教師の語りの分析—」, 『日本数学教育学会第 56 回秋期研究大会論文集』, 25-32, 静岡大学, 2023 年 11 月 18 日. (論文発表)
- ・康孝民「算数科校内授業研究を通じたある研究主任の学び —教師の省察に焦点を当てて—」, 『日本数学教育学会第 56 回秋期研究大会論文集』, 557-560, 静岡大学, 2023 年 11 月 19 日.

〈その他 受賞など〉

- ・日本科学教育学会年会発表賞：平林真伊, 康孝民「教師による数学の授業レキシコンの解釈に関する国際比較 —日韓の数学教師へのインタビュー調査を通して—」, 愛媛大学, 2023 年 9 月 19 日.

熊本秀子 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・熊本秀子「若い女性に期待された戦争での役割とは何か—『慰問文』を教材に一」國分麻里編著『女性の視点でつくるジェンダー平等教育—社会科を中心とした授業実践』2023 年 3 月, 初版, 明石書店, 133 頁, 85-96 頁.

〈学会発表〉

- ・熊本秀子「学校資料を用いた戦争学習の試み—御真影奉戴・国民儀礼・神社参拝を題材に一」日本社会科教育学会，第73回全国研究大会（東京学芸大学・筑波大学共催）自由研究発表Ⅱ，オンライン，2023年10月29日。

〈その他 受賞など〉

- ・パネリスト，日本学術会議公開シンポジウム「18歳と司法への市民参加」Ⅱパネルディスカッション，主催：日本学術会議・法学委員会・「市民性」涵養のための法学教育システム構築分科会，日本学術会議講堂（オンライン併用），2023年3月17日。

澁谷優子（教育社会学）

〈編著書〉

- ・角田仁，宮城千恵子，渡邊慎也，澁谷優子，木村さおりサブリナバルトロ「高校・NPO・市民の三者が協働したシティズンシップ教育—対話と参加を通じた多文化共生の授業実践の試み」（第2章）
- ・徳永智子，角田仁，海老原周子編著『外国につながる若者とつくる多文化共生の未来 協働によるエンパワメントとアドボカシー』2023年4月，明石書店，p77-95.

〈学会発表〉

- ・澁谷優子「日台国際児の現地理解教育の経験とその意味づけ—台湾の日本人学校卒業生の語りを通して—」異文化間教育学会，東京都立大学，2023年6月11日。
- ・澁谷優子「日台国際児の現地理解教育の経験の経験：台湾の日本人学校卒業生の語りから」中国四国教育学会，広島大学，2023年11月26日。

XIE CONG（社会科教育学）

〈調査報告書〉

- ・XIE CONG「大子町立生瀬小学校における地域学習の授業開発と実践」『地域と教育：筑波大学博士課程人間総合科学学術院教育学学位プログラム「社会科教育学特講」調査報告』第21号 2023.01 pp.143-154

杉山比呂之（教育方法学）

〈論文〉

- ・杉山比呂之「非認知能力の育成を目指す探究学習「チーム作り講座」における外部人材を活用した授業デザイン」『専修大学教職研究』第3号，2023年2月，pp.11-20.

〈学会発表〉

- ・杉山比呂之「高校生に求められる変容可能な非認知能力モデルの構築—探究学習「秘密基地「らぼる」の実践を通じて—」教育の国際化研究会，オンライン，2023年3月5日
- ・杉山比呂之「高等学校における外部人材と協働して「非認知能力」の育成を目指すSLの実践」サービス・ラーニング全国フォーラム，創価大学，2023年5月28日
- ・杉山比呂之「高等学校における「非認知能力」の育成をねらいとする実践研究の変容と再定義」日本教育工学会研究会，千葉大学，2023年7月29日
- ・杉山比呂之「〈場〉の概念に着目した授業づくり—社会情動的スキルの育成をねらいとして—」日本教育方法学会，慶應義塾大学，2023年10月14日
- ・杉山比呂之「青年期に社会情動的スキルを育成する理論と方法—高等学校における学校設定科

目を実践的背景として一」日本キャリア教育学会，愛知教育大学，2023年10月29日

田畑智子（比較国際教育学）

〈編著書〉

- ・田畑智子 Joshi Dinesh 「第5章 コラム YPAR のユニークな特徴：2人の視点から」徳永智子，角田仁，海老原周子 編著『外国につながる若者と作る多文化共生の未来』2023年4月，明石書店，pp157-162.

〈論文〉

- ・田畑智子 「英語授業における生成系 AI の活用：時事英語授業での実践報告」『英語教育研究』（大妻女子大学 英語教育研究所）No. 3, 2023年12月，pp. 103-109.

〈海外発表〉

- ・Satoko, Tabata. (2023). Teacher Agency in Continuous Professional Learning: A comparative case study in community schools in Nepal. American Educational Research Association. AERA Annual Meeting2023, April 14th.

張 傳博（社会科教育学）

〈調査報告書〉

- ・張傳博 「地域に根ざした農業体験活動が持つ社会的機能—茨城県大子町立生瀬小学校の取り組みを事例として—」『地域と教育：筑波大学博士課程人間総合科学学術院教育学学位プログラム「社会科教育学特講」調査報告』第21号 2023.01 pp.74-88

〈学会発表〉

- ・張傳博 若手研究者らのラウンドテーブル 全国社会科教育学会・第72回全国研究大会（岡山大学）2023.11.19
- ・張傳博 自由研究発表「変動社会を生きる社会科教師のライフヒストリーに関する日中比較研究—ヴァルネラビリティの視点から—」日本公民教育学会・第33回全国研究大会（埼玉大学）2023.06.11

CHEN XIN（人文科教育学）

〈学会発表〉

- ・CHEN XIN & 細田広人「日中の中学生が書いた「論語」のエッセイに関する比較研究—章句の選択とエッセイの特徴を分析対象に一」全国大学国語教育学会第144回，島根大学にて対面開催，2023年5月28日.

〈投稿論文〉

- ・CHEN XIN（2023）「教育課程の改訂から見た日本の中学校国語科における漢文教育の特徴—中国との比較研究の土台構築を視野に一」，『読書科学』，64，130-147.
- ・CHEN XIN（2023）「Finding of Comparative Studies Analyzing Chinese Classics Teaching Materials in Textbooks from Japan and China: A Literature Review」，『人文科教育研究』，50，1-16.
- ・CHEN XIN（2023）「中日の中学校における共通教材の漢詩の授業指導についての調査—教師用指導書の「指導事例」を対象に一」，『人文科教育研究』，50，81-95.

徳富健治（教育方法学）

〈論文〉

- ・徳富健治「音楽の響きを感じ取った子どもの姿—3名の音楽の教師のインタビューを中心に—」『教育方法学研究』（教育方法研究会）第19集，2023年3月，153-166ページ。

〈学会発表〉

- ・徳富健治「『音響認識論』における学校音楽教育の教育的意義—生成過程と変容に着目して—」，慶応義塾大学，日本教育方法学会，2023年10月14日。

外池彩萌（教育方法学）

〈論文〉

- ・外池彩萌「日本教育学会研究課題『平和教育』関連部会における内容の変遷—『平和教育』内容拡大過程の計量的分析—」『教育方法学研究』（教育方法研究会）第19集，pp.167-182。

〈学会発表〉

- ・外池彩萌「戦後日本の学校教育における平和教育実践の展開—雑誌『平和教育』分析を手掛かりに—」日本教育方法学会，慶應義塾大学，2023年12月15日

〈その他〉

- ・外池彩萌「日本教育学会課題研究『平和教育』関連部会における内容の変遷」日本教育学会関東地区研究会公開シンポジウム，オンライン，2023年5月21日

仲条幸一（教育方法学）

〈論文〉

- ・仲条幸一「MIDIを活用した幼児の音楽表現の記録と分析— 幼児の姿を読み取る保育者との対話に着目して—」『教育方法学研究』日本教育方法学会第48巻，pp.25-35。
- ・仲条幸一・板橋華子・岡部玲子・山口瑞穂・山本紀乃「保育学生による「子ども番組」の制作—TPACKを枠組みとしたICT活用のwell-being的意義」『音楽教育実践ジャーナル』第21巻，日本音楽教育学会，pp.65-74。（研究代表者：仲条幸一）

〈学会発表〉

- ・仲条幸一「自身の声を録音・再生して音あそびをする乳幼児の縦断観察」日本保育学会第76回大会，熊本学園大学（オンライン）2023年5月14日。

〈海外発表〉

- ※ KOICHI Nakajo 「Practical Research on the Utilization of “Recordings” for Musical Expression of Infants.」Japan-Korea Symposium for Music Education Practitioners, Virtual Conference, 2023年2月18日。
- ※ KOICHI Nakajo 「Visual Interpretation of Learner’s Musical Expression in Logic Pro」Apple, “ADE Institute 2023 Asia-Pacific”, Showcase. 2023年6月29日。

中端紅南（教育制度学）

〈学会発表〉

- ・中端紅南「商業高等学校における検定試験の実施による教育振興策に関する一考察」日本教育制度学会第30回大会，筑波大学，2023年11月11日。

中山正則（社会科教育学）

〈論文〉

- ・中山正則「大子町における学校設立から統廃合の経緯と統合校における特色ある教育活動の実際」筑波大学博士課程人間総合科学学術院教育学学位プログラム「社会科教育特講」調査報告『地域と教育 第21号—茨城県久慈郡大子町—』2023年1月 p89-108
- ・中山正則「埼玉県における社会科のあけぼの—埼玉縣南埼玉郡潮止小学校の社会科（昭和25年度）を中心に—」『埼玉地理43』p13-21 2023年7月 埼玉地理学会
- ・中山正則 第25期日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会学校地理教育小委員会の小学校における地理教育の推進作業グループ委員による現時点での研究・実践内容の報告 日本地理教育学会例会発表4 中山正則「次期学習指導要領を見据えた小学校社会科の現状と課題」『新地理第71巻第2号』2023年 日本地理教育学会

〈報告書〉

- ・第25期日本学術会議地域研究委員会・地球惑星科学委員会合同地理教育分科会『見解「地理総合」の充実と小学校から大学まで一貫した地理教育の構築に向けて—持続可能な社会の実現に向けて—』2023年9月27日 学校地理教育小委員会委員として小学校関連部分共同執筆
- ・流山市立博物館友の会『東葛の橋めぐり事典 東葛流山研究第39号』第2章 野田市の橋 関宿水閘門，境大橋・関宿橋，宝珠花橋，金野井大橋，野田橋部分執筆 2023年 たけしま出版

〈教育雑誌執筆〉

- ・中山正則「持続可能な社会の作り手を育てる，単元づくり，授業づくり，評価づくりをめざして」『教育科学 社会科教育 2023年10月号』p24-25 明治図書

〈学会誌 書評〉

- ・中山正則 『山本健太・長谷川直子編著，日本地理学会監修 地理がわかれば世界がわかる！すごすぎる地理の図鑑』『新地理第71巻第2号』2023年 日本地理教育学会

玄 在均（社会科教育）

〈調査報告〉

- ・Hyun Jaegyun「中学生におけるコンピテンシーと社会参画との関係性—茨城県大子町における意識調査より—」『地域と教育：筑波大学博士課程人間総合科学学術院教育学学位プログラム「社会科教育学特講」調査報告』21，2023年1月，45-57頁.

〈学会発表〉

- ・玄在均「小中学生の世界の問題に対する関心がグローバル・シティズンシップ意識に及ぼす影響—社会参加の媒介効果に着目した日韓比較研究—」第33回全国研究大会，日本公民教育学会，埼玉大学，2023年6月11日.
- ・玄在均「小中学生のグローバル・シティズンシップ意識への教員と家族の影響—潜在クラス分析を用いて—」第73回全国研究大会，日本社会科教育学会，東京学芸大学・筑波大学共（オンライン開催），2023年10月28日.

福山 敦（高等教育論）

〈論文〉

- ・福山敦「定員管理政策下における2016年度以降の私立大学経営に関する一考察（前編）」『学校法人』（学校経理研究会），Vol.46 No.9，pp.23-33.

〈学会発表〉

- ・ 福山敦「理事長のリーダーシップに着目した大学経営に関する一考察—小規模私立大学における事例分析を通して—」日本高等教育学会, 千葉大学, 2023年6月11日.
- ・ 福山敦「定員管理政策に対する学生数と財務に着目した私立大学の経営について」大学行政管理学会, 文教大学, 2023年9月3日.

藤 朱里 (教育方法学)

〈論文〉

- ・ 藤朱里「教師の省察的実践における『観』の位置—先行研究の動向を中心に—」『教育方法学研究』(教育方法研究会)第19集, 2023年3月, 185-194ページ.

〈学会発表〉

- ・ 藤朱里「授業の省察場面における中堅教師の葛藤—教授方略の模索過程に着目して—」日本教師教育学会, 東京大学, 2023年10月1日.

真島聖子 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・ 真島聖子「かかわり合いを通して問題の本質に迫る子どもたち」唐木清志『社会科の「問題解決的な学習」とは何か』2023年7月, 初版, 東洋館出版社, 166ページ, 10ページ.
- ・ 真島聖子「行政・企業・NPOと共創する地域協働教育体験活動—子どもキャンパス構想に基づいた拠点構築に向けて—」『教職の魅力共創』編集委員会 2023年3月, 初版, 愛知教育大学出版会, 142ページ, 5ページ.
- ・ 神谷太一・真島聖子「多文化共生の視点を育む小学校社会科授業の構想—高浜市多文化コミュニティセンターの事例分析を中心に—」『教職の魅力共創』編集委員会 2023年3月, 初版, 愛知教育大学出版会, 142ページ, 6ページ.

〈論文〉

- ・ 真島聖子・笠巻一倫「よりよい社会を共に創る小学校社会科授業デザイン—外部人材として「挑戦する大人」の存在が果たす役割—」『共創』(愛知教育大学)1号, 2023年3月, 11ページ.
- ・ 鈴木一成・真島聖子・小塚良孝「大学・附属学校園連携プロジェクトの成果と課題—2022年度に実施した附属学校園アンケートの分析から—」『共創』(愛知教育大学)1号, 2023年3月, 11ページ.

〈学会発表〉

- ・ 真島聖子「租税教育のカリキュラム構想—税についての権利意識と社会参加意識に焦点を当てて—」日本公民教育学会, 埼玉大学, 2023年6月11日
- ・ 真島聖子「高等学校『公共』における財政・租税の授業開発—財政の持続可能性に焦点を当てて—」経済教育学会, 立命館大学びわこ・くさつキャンパス, 2023年10月1日
- ・ 真島聖子「教育実習と学校体験活動を補完して新たな価値を生み出す地域協働教育体験活動—『子どもキャンパスプロジェクト』と連動した授業の開発—」日本教育大学協会, 山形大学(WEB), 2023年10月8日
- ・ 小塚良孝・真島聖子・小田原健一・青山昌平「大学と附属高校の連携による『共創的探究活動指導力』育成プログラムの開発」日本教育大学協会, 山形大学(WEB), 2023年10月8日
- ・ 田口達也・宮川貴彦・小塚良孝・真島聖子「教育学部4年生を対象とした教員志望の意思決定に影響した事柄に関する研究」日本教育大学協会, 山形大学(WEB), 2023年10月8日

- ・真島聖子「社会的課題の解決に向けて選択・判断する小学校社会科授業の開発—租税が果たす役割に着目して—」日本社会科教育学会，筑波大学・東京学芸大学（WEB），2023年10月28日
- ・真島聖子・青山昌平「歴史認識問題を考える高等学校日本史授業の開発—『慰安婦』を事例に—」全国社会科教育学会，岡山大学，2023年11月18日

三垣雅美（教育方法学）

〈論文〉

- ・三垣雅美「高等学校新学習指導要領に見られる国際バカロレアとの類似と相違—学習指導要領外国語編とIB Language Bに着目して—」『環太平洋大学研究紀要』第23号，2023年11月，pp.37-46

峯田一平（理科教育学）

〈学会発表〉

- ・峯田一平・山本容子「欧米における Epistemic Agency の育成を重視した科学教育実践の動向」第73回日本理科教育学会全国大会（高知大会），高知大学，2023年9月23日。

森野かおり（高等教育論）

〈論文〉

- ・森野かおり「教員養成における教科の専門性に関する研究の視点と課題—小学校音楽科の『教科に関する専門的事項』を例に一」『横浜国立大学教育学部紀要Ⅰ，教育科学』第6集 2023年3月 pp.277-285

〈学会発表〉

- ・森野かおり「ドイツの音楽科教員養成課程における Musikpraxis の位置付け」日本比較教育学会，オンライン開催，2023年6月17日
- ・伊藤裕来，森野かおり，金光真理子「『身体知』としての音楽の学びの可能性—知識・技能の「身体化」あるいは有機的な指導の方法をめぐって—」日本音楽教育学会，弘前大学，2023年10月15日

山中拓真（教育制度学）

〈論文〉

- ・山中拓真「幼保の所管・施設面での一体化が保育料軽減率に及ぼす影響」『保育学研究』61巻2号，2023年12月，pp.19-30.

〈その他 受賞など〉

- ・日本乳幼児教育学会，新人賞，2023年12月。

李 月婷（高等教育論）

〈論文〉

- ・李月婷「高等教育の『信訪』である『学長ポスト』の役割の変容—中国本土にある4年制国立大学への調査に基づいて—」『東アジア教育研究』第16号，14-25頁，2023.7

〈学会発表〉

- ・李月婷「『圧力型体制』下にある『学長ポスト』の安全弁としての役割について—中国の4大学に対する調査から—」比較教育学会，オンライン，2023.6